



**みんなの人権小地域懇談会
 が始まりました**

県西部で新型コロナウイルス感染症が続いたため控えていた「みんなの人権・小地域懇談会」開催のお願いを各自治会にいたしました。さっそく開催を決めていただいた自治会も多く、10月12日の多里を皮切りに各会場にうかがっています。もちろんコロナ禍への配慮で中止とされた自治会もありますが、各戸配布や回覧でご覧いただけよう懇談会資料をお送りしています。ご一読いただければ幸いです。今年の特テーマは「優生思想・優生思想を考える」としました。優生思想、選民思想は、人間を何かの尺度で測り優劣をつけたり、「選ばれた（特別な）人」と「選ばれなかった人」とを区別したり

する物の見方、価値観のことです。世の中全体がこうした考え方に覆われると、劣性とされた個人や集団を、社会を挙げて排除する状況に陥ったりします。実際に歴史上繰り返されていきます。人権を阻害するこの価値観についてお話しています。

次世代の共生社会を築いて

米子南高等学校で伊田哲朗さん（下石見）が人権講演

米子南高等学校から当センターに人権に関する講演の依頼を頂戴し、9月22日、本町の前人権教育推進員、伊田哲朗さん（下石見）に、全校生徒に向けて講義していただきました。コロナ感染予防のため、体育館に3年生が集まり、1、2年生は教室でテレビでの聴講となりました。

伊田さんは「人と人が出会うということ」というテーマで、オリンピックやパラリンピックから見た人権課題のこと、性差や作られた男らしさ・女らしさという問題、兵庫県立高等学校での教員生活の中で出会われた印象深い生徒たちのことなどを語られました。最後は、これからは学校も地域も

多様な人が共生できる場になることを目指しましょうと締めくくられました。

聴講した高校生たちの真剣な横顔に人権意識の深まりを期待した一日でした。



▲広い体育館を埋めた生徒たち

【同和問題職場研修会】

コロナ禍の動向を見極めるため開催日時の決定とご案内が遅れています。最近、県内の感染者数が少数で推移していることから、近々、開催のご案内をする予定にしています。会場を文化センター二階多目的ホールとし、回数を増やして開く方針です。

テーマは「コロナ禍で見直す働く人と顧客の関係性（仮題）」として、コロナ禍に見えたサービスの提供者への差別を切り口に、私たちの持つ「労働者」と「消費者」という二つの顔についての捉え直しを考える内容で準備中です。各事業所にご案内が届きましたら、ご参加くださいますようお願いいたします。

【予告】

第6回ふれあい人権講座

「幸せってなんだろう」
 ～世界でいちばん貧しい大統領の言葉から考えてみる～

日時 11月9日（火）
 午後6時～7時30分
 会場 日南町人権センター
 講師 人権センター職員



11月の人権相談・行政相談

日時 11月12日（金）
 午前9時～12時

会場 子育て支援センター

☆予約は不要で秘密は固く守られます。お気軽にお越しください。

